三条市水道事業ビジョンの達成状況
（令和7年度）

基本方針1　安全で安定した水道水の供給

1　水源の確保･保全･水質管理の徹底

　啓発活動等実施回数及び水質異常発生回数の実績は、いずれも計画を達成しました。
　安全で安定した水道水の供給のために、水源の確保と保全、水質管理の徹底は重要です。今後も水源保全の啓発を行うとともに、水道施設のパトロールや水質管理等の徹底に努めてまいります。

区　　分	令和７年度		
	計　画	実　績	計画値との差
啓発活動等実施回数（回）	2	2	0
水質異常発生回数（回）	0	0	0

2　水道施設の安全管理

　水道施設の日常点検を確実に行い、施設の異常把握に努めました。

基本方針2　災害に対する強靭化の推進

1　水道施設の耐震化

　水道管路の耐震化は材料調達や関係機関との協議等に不測の日数を要し、工事の繰越等が発生したことで計画未達となりました。引き続き、限りある財源の中で計画的な耐震化に努めてまいります。

区　　分	令和７年度		
	計　画	実　績	計画値との差
管路の耐震化率（%）	14.7	12.6	△2.1

2　災害時対応の充実･強化

　応急給水体制の確保については、前年度に引き続き日本水道協会新潟県支部との応援体制が確立されている中で、水道お客さまセンターとの連携強化に努め、市の水害対応防災訓練に併せて訓練を実施しました。
　また、災害復旧体制の確保については、日本水道協会新潟県支部の三条エリア団体（三条市、燕・弥彦総合事務組合、加茂市、田上町、三条地域水道用水供給企業団）と資機材の保有情報を共有するなど関係機関との連携を図りました。

基本方針３　健全な事業運営の持続

１　計画的な施設の更新

　材料調達や関係機関との協議等に不測の日数を要し、工事の繰越等が発生したことで計画未達となりました。限りある財源の中で、関係機関と十分に調整しながら計画的に進めてまいります。
　浄配水施設の長寿命化については、今後決定している企業団からの受水量の増加を見据え、引き続き、適切な維持管理に努めてまいります。

区　　分	令和７年度		
	計　画	実　績	計画値との差
管路更新延長（km）	5.6	4.1	△1.5

２　収益の確保

　水道事業の収入の根幹を成す水道料金の収納率は、計画値を下回りました。引き続き、収納率の向上に努め、未納者に対しては、納入相談等により納付意識の向上に努めてまいります。

区　　分	令和７年度		
	計　画	実　績	計画値との差
収納率（%）	98.90	98.50	△0.4

３　経営の効率化

　営業収支比率及び有収率が計画値を下回りましたが、その他の項目は計画値を上回りました。今後もコスト削減等による経営の効率化を進めるとともに、デジタル技術を活用するなど、漏水の早期発見・早期修繕に努め、有収率の向上を図ってまいります。

区　　分	令和７年度		
	計　画	実　績	計画値との差
職員数（人）	28	26	△2
営業収支比率（%）	94.55	94.44	△0.11
経常収支比率（%）	95.41	98.19	2.78
有収率（%）	91.15	86.1	△5.05

基本方針３　健全な事業運営の持続

４　事業運営体制の強化

外部研修については、積極的に参加した結果、計画を達成しました。

区　　分	令和７年度		
	計　画	実　績	計画値との差
外部研修参加人数（人）	6	15	9

投資計画と財政収支計画の達成状況　①投資計画

投資計画

前年度に繰越工事が発生したため、更新費用の配水管布設替工事費、その他建設費用の配水管施設設置工事費及び配水管布設工事費が計画を上回りました。引き続き計画的に工事を進めてまいります。

（千円）

区　　分		令和７年度		
		計　画	実　績	計画値との差
更新費用	浄水施設費	10,000	4,990	△5,010
	配水管布設替工事費	550,000	579,900	29,900
		560,000	584,890	24,890
その他建設費用	配水施設設置工事費	5,000	41,315	36,315
	配水管布設工事費	30,000	86,802	56,802
	消火栓施設費	10,000	596	△9,404
	固定資産購入費	4,000	27,035	23,035
		49,000	155,748	106,748
計		609,000	740,638	131,638

投資計画と財政収支計画の達成状況　②財政収支計画

給水人口と年間有収水量の見込み

給水人口は計画値を下回りましたが、年間有収水量は計画値を上回りました。今後も給水人口の減少に伴い、使用水量の減少が見込まれますが、漏水の早期発見・早期修繕を図り、無収水量の縮減に努めてまいります。

区　　分	令和７年度		
	計　画	実　績	計画値との差
給水人口（人）	90,181	89,328	△853
年間有収水量（千㎥）	10,949	11,180	231

収益的収支

収入については、年間有収水量が計画値よりも多かったことで、料金収入は計画値を上回りました。

支出については、物価の高騰による物件費・人件費が増加しましたが、計画内で収めることができました。

結果として、34,467千円の赤字となりました。

（千円）

区分		令和7年度		
		計　画	実　績	計画値との差
収入	1営業収益	1,697,770	1,732,351	34,581
	(1)料金収入	1,670,773	1,706,436	35,663
	(2)その他	26,997	25,915	△1,082
	2営業外収益	105,922	113,162	7,240
	(1)他会計繰入金	1,433	2,680	1,247
	(2)長期前受金戻入	64,165	66,129	1,964
	(3)水道加入金･その他	40,324	44,353	4,029
	3特別利益	0	47	47
	計(A)	1,803,692	1,845,560	41,868
支出	1営業費用	1,795,455	1,834,259	38,804
	(1)人件費	127,538	141,612	14,074
	(2)物件費	1,073,662	1,124,876	51,214
	(うち受水費)	781,804	774,838	△6,966
	(3)減価償却費ほか	594,255	567,771	△26,484
	2営業外費用	95,047	45,353	△49,694
	(1)支払利息	94,117	42,989	△51,128
	(2)その他	930	2,364	1,434
	3特別損失	500	415	△85
	計(B)	1,891,002	1,880,028	△10,974
損益(A)－(B)		△87,310	△34,467	52,843
利益剰余金残高		785,224	1,471,359	686,135

資本的収支

建設改良費の支出については、前年度に繰越工事が発生したことにより計画を上回りましたが、工事負担金等の収入は減額となり、計画値を下回りました。
引き続き、水道事業ビジョンに基づき、計画的に工事等を進めてまいります。
なお、内部留保資金残高は計画値を上回っております。

（千円）

区分		令和7年度		
		計　画	実　績	計画値との差
収入	1　企業債等	465,000	493,500	28,500
	2　出資金･補助金	0	0	0
	3　工事負担金･その他	80,467	37,580	△42,887
	計(A)	545,467	531,080	△14,387
支出	1　建設改良費	691,629	855,661	164,032
	2　企業債償還金	187,752	266,568	78,816
	3　災害復旧償還金	0	0	0
	計(B)	879,381	1,122,229	242,848
差引不足額(A)－(B)		△ 333,914	△591,149	△257,235
内部留保資金残高		2,530,079	3,042,218	512,139

令和７年度における水道事業ビジョンの総括

水道管路の更新（耐震化含む）については、関係機関との協議等に不測の日数を要し、工事の繰越等が発生したことや昨今の物価高騰による工事費の上昇などにより、計画どおりに進めることができませんでした。
経営状況については、人口減少による給水収益の減少や昨今の急激な物価高騰などにより赤字収支となりました。今後は利益積立金等の内部留保資金を活用した経営が続きますが、令和10年度に予定されている三条地域水道用水供給企業団の料金改定の内容を踏まえ、水道事業の財政状況を勘案した中で、水道料金の改定についても検討していきます。
給水人口の減少や、施設･設備の老朽化に伴う更新費用の増大等により厳しい経営状況となりますが、将来にわたり安定的に事業を継続していくための中長期的な経営戦略である「三条市水道事業ビジョン(令和8年度～令和17年度)」に基づき、更なる経営の効率化を進めるとともに、引き続き計画的な施設更新を行い、これからも市民生活に欠かすことのできない安全でおいしい水の安定供給を進めていきます。